

前回定例会（平成20年11月5日）以降の原子力安全・保安院の動き

平成20年12月3日

原子力安全・保安院

1. 柏崎刈羽原子力発電所第7号機の設備健全性評価に係る中間報告（燃料装荷前の系統機能試験）のとりまとめについて

原子力安全・保安院（以下、「保安院」という。）は、11月6日、柏崎刈羽原子力発電所第7号機に係る中間報告（燃料装荷前の系統機能試験）をとりまとめ、原子炉に燃料を装荷した状態で行う系統機能試験に進むことについて、安全上の問題はないと評価し、原子力安全委員会に報告を行いました。

2. 柏崎刈羽原子力発電所の敷地・敷地周辺の地質・地質構造及び基準地震動の評価に係る報告書（中間報告）の原子力安全委員会への報告等について

保安院は、新潟県中越沖地震を踏まえ柏崎刈羽原子力発電所の敷地・敷地周辺の地質・地質構造及び基準地震動について専門家の意見を聴きながら、現地調査等も行い、検討を行ってまいりました。その結果、保安院は、東京電力が策定した基準地震動等について妥当であると評価し、中間報告書として取りまとめました。11月20日、本中間報告書を原子力安全委員会へ報告するとともに、東京電力に対し通知しました。

3. 柏崎刈羽原子力発電所敷地北部番神砂層露頭等の原子力安全・保安院による現地調査について

保安院は、11月22日、柏崎刈羽原子力発電所の耐震安全性評価に係る一貫として、真殿坂断層の活動性を評価するため、専門家、地元自治体及び地元団体とともに柏崎刈羽原子力発電所敷地北部の番神砂層露頭等の現地調査を実施しました。

4. 柏崎刈羽原子力発電所第7号機原子炉建屋・主要設備を対象とした基準地震動に対する耐震安全性評価及び耐震補強用地震動による評価に係る東京電力からの報告について

保安院は、平成19年7月16日、東京電力に対し、中越沖地震に対する安全上重要な設備の耐震安全性の確認等を行うよう指示しました。これを受け、東京電力は、柏崎刈羽原子力発電所第7号機建屋・設備の耐震安全性評価を進めてきましたが、その評価報告書が、11月4日、11月28日、12月3日の3回に分けて保安院に提出されました。今後、提出された報告内容について、専門家の意見を聴きながら厳正に確認していきます。

5. 柏崎刈羽原子力発電所7号機タービン建屋における火災に係る原因の究明及び再発防止策の検討の徹底について

保安院は、11月28日、東京電力に対し、柏崎刈羽原子力発電所7号機タービン建屋において発生した火災の原因の究明及び再発防止対策の検討を徹底して行うよう文書により指示しました。

6. IAEA第2次フォローアップ調査団の来日について

保安院は、12月1日から5日まで新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所の影響に関するIAEA調査団を受け入れています。これは、昨年8月、今年1月に続く、第3回目となる調査で、4日には現地視察も予定されています。

<中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会調査・対策委員会の開催状況>

11月 6日 地震・津波、地質・地盤合同ワーキンググループ (第21回)

18日 地震・津波、地質・地盤合同ワーキンググループ (第22回)

28日 構造ワーキンググループ (第23回)

12月 3日 設備健全性評価サブワーキンググループ (第16回)

構造ワーキンググループ (第24回)

<設備点検に係る妥当性確認のための立入検査等実績(11月6日~12月3日)>

立入検査：11月13日、14日(設備、建物)、18日、19日、27日 計6回